

若草中学校 自己評価書・学校関係者評価書（前期）

平成26年 9月29日
学校関係者評価委員会委員長 志村 郁造
南アルプス市立若草中学校校長 小田切雅裕

1 本年度の教育目標

- ① 学校教育目標 よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
② 具体的目標 ○よく学び、工夫する生徒 (知育)
○心豊かで、助け合う生徒 (徳育)
○健康で、たくましい生徒 (体育)
○意欲を持ち、やりぬく生徒 (意欲)
③ 本年度の重点 ○自律と自立(自らを律して自ら立つ) 基礎基本の定着、早寝・早起き・朝ご飯
○想像力と創造力(イマジネーション・クリエイションを働かせる)
・思考力、判断力、表現力の養成 ・読書活動 ・心を形に(小笠原流礼法) ・おもてなしの心
○和、輪、ワ(友情・信頼、仲間づくり・連帯感、驚きと感動の3つの"わ"
・学びの輪 ・合唱の輪

2 評価実施日

- ① 自己評価 評価実施日(平成 26年 7月 4日) 評価書作成日(平成26年 8月 1日)
② 学校関係者評価 評価実施日(平成 26年 9月25日) 評価書作成日(平成26年 9月29日)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

評価点:「思う…3点 やや思う…2点 あまり思わない…1点 思わない…0点」の平均点
評価:A…評価点2.4以上 B…評価点2以上2.4未満 C…評価点1.5以上2未満 D…評価点1.5未満

Table with 7 columns: 項目, 観点, 具体的な評価内容, 今年度評価点, 評価, 昨年度評価点, 自己評価(達成状況・改善策), 学校関係者評価(意見・支援). Rows are categorized by I (Education Goals), II (Schoolwork), III (Learning Guidance), IV (Student Guidance/Moral), V (Special Activities), and VI (Community).

○学校関係者評価者

志村郁造(区長会長), 今福正信(加代-), 金丸浩恵(主任児童委員), 塚原久美子(主任児童委員), 内藤恵美(PTA副会長), 小田切雅裕(学校長), 村松博己(教頭)

□話し合いの内容

○今年度の教職員の自己評価は昨年に比べ、全体的に低くなっている。職員一人一人の感じ方の違いもあると思うが特に評価Cについては、2学期以降重点項目として取り組んでもらいたい。保護者アンケートの数値は例年とほぼ同じ傾向にある。家庭訪問や生徒のこぼれを通して、保護者に本校の教育が理解されてきた結果であろうと推測される。しかしながら、その数値に満足するのではなく、CやDと感じている生徒や保護者への配慮も大切である。家庭及び地域との連携を充実させるには、一方的な意見は別として、意見や要望の背後にある本音を読み取ることにある。また、各地区の育成会活動に1回は顔を出すだけでも学校からの地域理解につながる。
○生徒アンケートの項目で「授業は楽しい」の評価が肯定率66.1%と低く、気になるところである。授業や学習における「わかる」・「できる」喜びは重要なことであり、「学びの質を高める授業づくり推進事業」の校内研究を通して授業改善を進めてもらいたい。また、学校の授業だけでなく、生徒の学習姿勢の状況を把握し、家庭と連携した家庭学習の指導が重要である。今年度より、全学年が35人以下の学級となり学習面、生活指導面でも細やかな対応ができています。
○生徒指導は、市生徒指導員の配置があり、だいぶ落ち着いた生活が送れている。引き続き一貫した指導、抑止力の向上(リーダーの育成)、家庭と連携した粘り強い取組が求められる。